

14時30分解禁

平成19年5月 全国百貨店売上高概況

平成19年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	5,993億円余
2. 前年同月比	-0.4% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	94社 278店 (平成19年4月対比2店プラス)
4. 総店舗面積	6,809,092㎡ (前年同月比:-0.1%)
5. 総従業員数	95,564人 (前年同月比:6.7%)
6. 3か月移動平均値	10-12月 -1.5%、11-1月 -1.0%、12-2月 -0.6%、 1-3月 -0.1%、2-4月 -0.5%、3-5月 -1.1%

[参考] 平成18年5月の売上高増減率は-1.1% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

3か月連続のマイナスだが、減少幅は4月の-1.3%から0.9ポイント改善している。北日本を除いて好天に恵まれ気温も高めに推移したことから、夏物商材に活発な動きが見られたが、土曜日の1日減少や一部大口需要の反動減もあって、僅かに前年を割り込む結果となった。

また、地区別の特徴としては、大都市部の店舗が概ね好調であったのに対し、東北・北海道地区をはじめ郊外型商業施設との競合が厳しい地方都市の店舗では苦戦が目立った。

なお、今年上期の大型改装は4月中にほぼ完了したことから、その効果が明確に出始めており、売場閉鎖の影響を受けていた東京が8か月ぶりにプラスとなったほか、特に改装効果が顕著に表れた京都では全店舗でプラスを記録した。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 列島南岸の前線帯が平年に比べ南に位置したため、東日本以西では高気圧におおわれ晴れる日が多かった。北日本では低気圧が頻繁に通過し曇りや雨の日が多かった。また、低気圧に向かって暖気が入るなど、東日本・西日本では高温となった。

(2) 営業日数増減 30.8日 (前年同月比±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (〃 土曜日1日減)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した：33店、②変化なし：49店、③減少した：65店、④不明：46店

(5) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)

①増加した：23店、②変化なし：66店、③減少した：36店、④不明：68店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する：38店、②変化なし：86店、③減少する：15店、④不明：54店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2007年05月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	599,314,086	100.0	-0.4 (-0.5)
10都市	383,539,752	64.0	-0.1 (-0.7)
札幌	15,639,276	2.6	0.4
仙台	8,145,232	1.4	2.0
東京	148,317,247	24.7	0.7
横浜	33,047,479	5.5	-0.6
名古屋	36,119,384	6.0	-0.5
京都	22,827,689	3.8	2.5 (-3.7)
大阪	74,408,709	12.4	-1.5
神戸	16,334,070	2.7	-2.4
広島	12,810,772	2.1	-1.5
福岡	15,889,894	2.7	0.6 (-4.8)
10都市以外の地区	215,774,334	36.0	-1.0 (-0.1)
北海道	4,416,872	0.7	-4.1 (-11.0)
東北	12,066,595	2.0	-5.9
関東	103,583,473	17.3	0.1 (2.8)
中部	16,695,471	2.8	-1.6 (-4.4)
近畿	18,983,055	3.2	-1.6
中国	14,941,220	2.5	-1.1
四国	11,482,893	1.9	-2.3
九州	33,604,755	5.6	-0.8

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	599,314,086	100.0	-0.4 (-0.5)
紳士服・洋品	47,809,242	8.0	-1.8 (-1.6)
婦人服・洋品	151,623,400	25.3	-0.9 (-1.0)
子供服・洋品	16,485,662	2.8	-4.5 (-4.4)
その他衣料品	17,948,677	3.0	-1.6 (-1.5)
衣 料 品	233,866,981	39.0	-1.4 (-1.4)
身のまわり品	81,694,481	13.6	0.5 (0.5)
化粧品	30,056,635	5.0	5.2 (5.3)
美術・宝飾・貴金属	31,035,905	5.2	-3.3 (-3.5)
その他雑貨	28,175,942	4.7	-1.5 (-2.9)
雑 貨	89,268,482	14.9	0.0 (-0.5)
家 具	9,508,033	1.6	-8.9 (-9.3)
家 電	2,262,919	0.4	-11.7 (-11.8)
その他家庭用品	20,898,677	3.5	-0.8 (-0.8)
家 庭 用 品	32,669,629	5.5	-4.1 (-4.3)
生 鮮 食 品	29,697,863	5.0	1.0 (1.2)
菓 子	31,431,897	5.2	2.0 (2.3)
惣 菜	30,825,974	5.1	0.4 (0.2)
その他食料品	36,856,377	6.1	3.0 (3.1)
食 料 品	128,812,111	21.5	1.7 (1.7)
食 堂 喫 茶	16,746,365	2.8	-1.1 (-0.8)
サ ー ビ ス	6,038,546	1.0	0.4 (1.1)
そ の 他	10,217,491	1.7	-0.4 (-0.7)
商 品 券	20,409,234	3.4	-0.8 (-1.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は総額に対する比率です。

○本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | －0.1% (店舗数調整後／3か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | －1.0% (〃 ／3か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	－0.1	0.0	3か月連続マイナス
札幌	0.4	0.0	3か月ぶりプラス
仙台	2.0	0.0	3か月ぶりプラス
東京	0.7	0.2	8か月ぶりプラス
横浜	－0.6	0.0	3か月連続マイナス
名古屋	－0.5	0.0	3か月連続マイナス
京都	2.5	0.1	7か月連続プラス
大阪	－1.5	－0.2	3か月連続マイナス
神戸	－2.4	－0.1	2か月ぶりマイナス
広島	－1.5	0.0	2か月ぶりマイナス
福岡	0.6	0.0	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	－1.0	－0.4	3か月連続マイナス
北海道	－4.1	0.0	5か月連続マイナス*
東北	－5.9	－0.1	5か月連続マイナス*
関東	0.1	0.0	3か月ぶりプラス
中部	－1.6	0.0	3か月連続マイナス
近畿	－1.6	－0.1	9か月連続マイナス
中国	－1.1	0.0	5か月連続マイナス*
四国	－2.3	0.0	3か月連続マイナス
九州	－0.8	0.0	3か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年からのトレンドとした。

NEWS LETTER

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは身のまわり品、雑貨、食料品、マイナスは衣料品、家庭用品。
なお、化粧品・菓子は前年比較を開始した1月以降5か月連続プラス。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.4	-	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.8	-0.1	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-0.9	-0.2	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-4.5	-0.1	8か月連続マイナス
その他衣料品	-1.6	0.0	68か月連続マイナス
衣料品	-1.4	-0.5	3か月連続マイナス
身のまわり品	0.5	0.1	3か月ぶりプラス
化粧品	5.2	0.2	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-3.3	-0.2	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-1.5	-0.1	5か月連続マイナス*
雑貨	+0.0	0.0	3か月ぶりプラス
家具	-8.9	-0.2	2か月連続マイナス
家電	-11.7	-0.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-0.8	0.0	3か月連続マイナス
家庭用品	-4.1	-0.2	3か月連続マイナス
生鮮食品	1.0	0.0	5か月ぶりプラス*
菓子	2.0	0.1	5か月連続プラス*
惣菜	0.4	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	3.0	0.2	4か月連続プラス*
食料品	1.7	0.3	5か月連続プラス
食堂喫茶	-1.1	0.0	3か月連続マイナス
サービス	0.4	0.0	15か月連続プラス
その他	-0.4	0.0	2か月ぶりマイナス
商品券	-0.8	0.0	66か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品についての推移は2006年1月から細分化したため、2007年の5か月のみの推移

平成19年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成19年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,483億円余
2. 前年同月比	0.7% (8か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭0.6% (86.9%) : 非店頭1.2% (13.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成19年4月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	960,042㎡ (前年同月比: 0.6%)
6. 総従業員数	18,661人 (前年同月比: 5.9%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 -1.8%、11-1月 -1.5%、12-2月 -1.4%、 1-3月 -0.9%、2-4月 -1.5%、3-5月 -1.1%

[参考] 平成18年5月の売上高増減率は-0.3%

【5月売上の特徴】

- (1) 晴天と気温上昇の影響で初夏・盛夏商材に活発な動きが見られ、8か月ぶりに売上増となった。アイテムとしては婦人のカットソー、紳士の半袖シャツ、スポーツ用品、パラスル等のUV商品が好調に推移した。
- (2) 好調を維持している化粧品、紳士のカジュアル衣料、婦人のワンピース、食品の菓子類については、改装効果もあって5月も引き続き売上拡大傾向を示している。
- (3) 5月に実施された都内各店の催事は、物産展・文化展・チャリティ等形態を問わずいずれも盛況であった。また、「母の日」に関する各企画についても概ね好評を博し、客数・売上共に想定以上の効果を記録している。
- (4) 6月の動向については、中旬段階で都内各店概ね前年をクリアしており、明るい見通しとなっている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 10店、③減少した: 7店、④不明: 2店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 9店、③減少した: 2店、④不明: 8店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 5店、②変化なし: 14店、③減少する: 1店、④不明: 2店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2007年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	148,317,247	100.0	0.7
紳士服・洋品	14,223,541	9.6	1.9
婦人服・洋品	36,031,921	24.3	0.8
子供服・洋品	3,047,382	2.1	-0.1
その他衣料品	4,002,139	2.7	4.3
衣 料 品	57,304,983	38.6	1.3
身のまわり品	21,275,856	14.3	3.7
化粧品	7,565,415	5.1	7.6
美術・宝飾・貴金属	8,838,326	6.0	-6.0
その他雑貨	8,657,247	5.8	3.4
雑 貨	25,060,988	16.9	1.0
家 具	2,708,440	1.8	-16.6
家 電	896,124	0.6	-4.7
その他家庭用品	5,446,494	3.7	-1.2
家 庭 用 品	9,051,058	6.1	-6.7
生 鮮 食 品	4,603,447	3.1	1.0
菓 子	7,363,916	5.0	5.2
惣 菜	6,976,767	4.7	-0.1
その他食料品	8,550,636	5.8	3.5
食 料 品	27,494,766	18.5	2.6
食 堂 喫 茶	3,668,487	2.5	-6.7
サ ー ビ ス	1,695,255	1.1	1.4
そ の 他	2,765,854	1.9	-15.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	4,157,117 千円	5.3 %
従 業 員 数	18,661 人	5.9 %
売 場 面 積	960,042 m ²	0.6 %

営 業 日 数	31.0	前年	31.0 日
---------	------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品、マイナスは家庭用品。
なお、化粧品・食料品は5か月連続プラス。紳士服は2か月連続プラスとなり、婦人服は
8か月ぶりに、その他衣料品は66か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.7	—	8か月ぶりプラス
紳士服・洋品	1.9	0.2	2か月連続プラス
婦人服・洋品	0.8	0.2	8か月ぶりプラス
子供服・洋品	-0.1	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	4.3	0.1	66か月ぶりプラス
衣料品	1.3	0.5	8か月ぶりプラス
身のまわり品	3.7	0.5	3か月ぶりプラス
化粧品	7.6	0.4	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-6.0	-0.4	5か月連続マイナス*
その他雑貨	3.4	0.2	3か月ぶりプラス*
雑貨	1.0	0.2	3か月ぶりプラス
家具	-16.6	-0.4	2か月ぶりマイナス
家電	-4.7	0.0	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-1.2	0.0	3か月連続マイナス
家庭用品	-6.7	-0.4	12か月連続マイナス
生鮮食品	1.0	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	5.2	0.2	5か月連続プラス*
惣菜	-0.1	0.0	2か月連続マイナス*
その他食料品	3.5	0.2	4か月連続プラス*
食料品	2.6	0.5	5か月連続プラス
食堂喫茶	-6.7	-0.2	15か月連続マイナス
サービス	1.4	0.0	13か月連続プラス
その他	-15.9	-0.4	7か月連続マイナス
商品券	5.3	0.1	2か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品に
ついての推移は2006年1月から細分化したため、2007年の5か月のみの推移